
日本BS放送株式会社

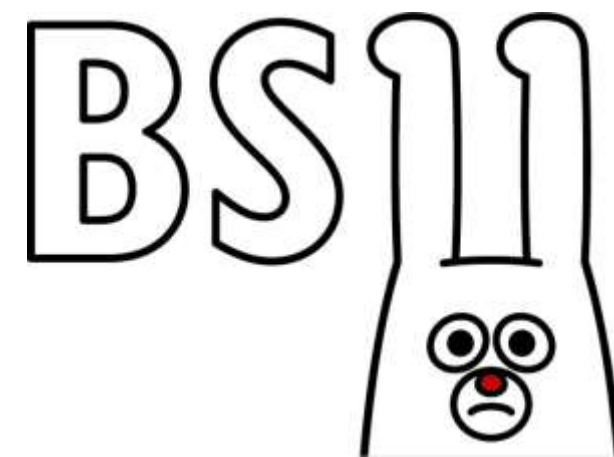
2015年8月期 決算概要

2015年10月7日



(東証一部 9414)

I 決算概況



2015年8月期 総括

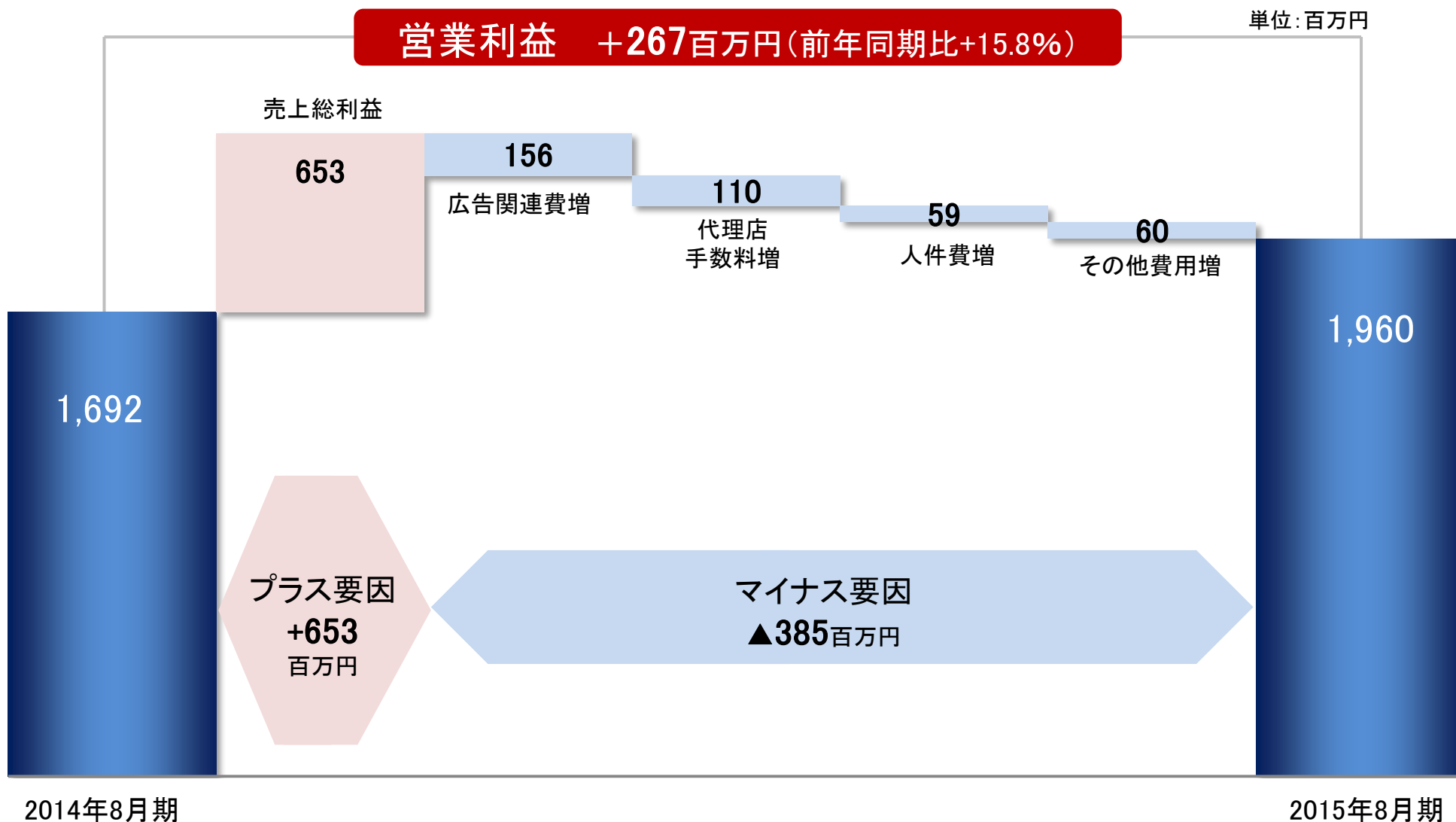
売上高 **8,865百万円** (前期比 12.7%増)

営業利益 **1,960百万円** (前期比 15.8%増)

- 売上、利益とも計画・前年を上回って推移
- 高品質な自社制作番組の制作による広告枠の付加価値向上
- 局認知度向上、視聴世帯数増加を目的とした効率的な広告宣伝の実施
- 好調な業績により繰越欠損金を解消

(単位: 百万円、下段は構成比)

	2014年8月期	2015年8月期						
		実績	前年同期比	増減額	計画	計画比	増減額	主な変動要因(計画比)
売上高	7,869 (100.0%)	8,865 (100.0%)	+12.7%	+995	8,800 (100.0%)	+0.7%	+65	(売上高) ・タイム収入の好調による増加
売上総利益	4,050 (51.5%)	4,704 (53.1%)	+16.1%	+653	— (—)	—	—	(段階利益) ・売上高増加及び原価・経費の効率的使用による利益の増加
営業利益	1,692 (21.5%)	1,960 (22.1%)	+15.8%	+267	1,840 (20.9%)	+6.5%	+120	≪利益増加の具体的要因≫ 売上原価: ・番組関連費用は計画どおり推移 ・その他原価項目の効率的使用
経常利益	1,675 (21.3%)	1,912 (21.6%)	+14.1%	+236	1,800 (20.5%)	+6.2%	+112	販売管理費: ・広告関連費用は計画どおり推移 ・その他販管費の効率的使用
当期純利益	1,240 (15.8%)	1,216 (13.7%)	▲1.9%	▲23	1,100 (12.5%)	+10.6%	+116	≪利益減少の具体的要因≫ 販売管理費: ・売上増に伴い代理店手数料増加



(単位: 百万円、下段は構成比)

	2014年8月期	2015年8月期			
		実績	前年同期比	計画	計画比
売上高	7,869 (100.0%)	8,865 (100.0%)	+12.7%	8,800 (100.0%)	+0.7%
タイム収入	5,905 (75.1%)	6,392 (72.1%)	+8.2%	6,300 (71.5%)	+1.5%
スポット収入	1,874 (23.8%)	2,259 (25.5%)	+20.5%	2,310 (26.3%)	▲ 2.2%
その他	90 (1.1%)	214 (2.4%)	+137.0%	190 (2.2%)	+12.7%

主な増減要因(前年同期比)

■ タイム収入

- ・通販番組の単価が引き続き上昇したこと、アニメ番組の放送時間枠が増加したことによる収入が増加
- ・インフォメーション(ミニ枠/5分)の販売が好調に推移

■ スポット収入

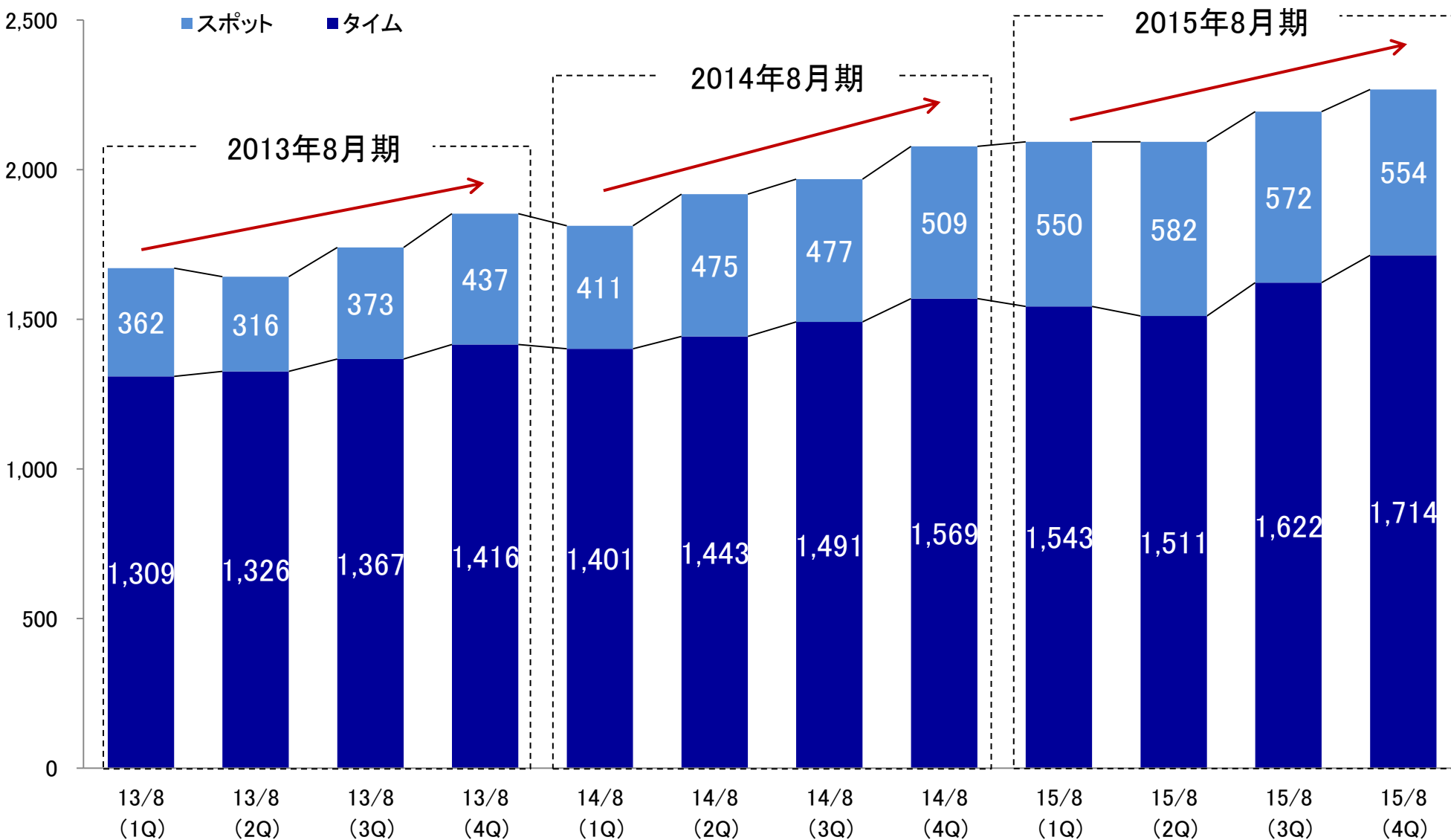
- ・韓国ドラマの根強い人気に支えられ、間に放送する通販スポット販売が引き続き好調に推移、2015年4月以降の機能性表示食品制度開始に伴う通販スポットの一時的鈍化を吸収。
- ・BS放送の媒体価値向上に伴い、純広スポットも順調に増加

■ その他

- ・映画「罪の余白」制作業務請負に伴う収入、アニメ制作委員会への出資に伴う配当金収入

◆ 売上高の変動に季節的要因はなく、期末に向けて増加トレンド

単位: 百万円



主要費用項目実績

(単位: 百万円、下段は売上比)

	2014年8月期	2015年8月期		
		実績	前年同期比	主要な増減要因
番組関連費用(原価)	2,234 (28.4%)	2,601 (29.3%)	+16.4%	
番組購入費	388 (4.9%)	372 (4.2%)	▲4.0%	
番組制作費	1,846 (23.5%)	2,228 (25.1%)	+20.7%	制作番組内容充実、年末特別番組及び映画「罪の余白」制作による増加
放送関連費用(原価)	736 (9.4%)	646 (7.3%)	▲12.2%	
放送委託費	555 (7.1%)	555 (6.3%)	-	
技術費	180 (2.3%)	90 (1.0%)	▲49.6%	放送設備リース期間終了によるリース料の減少
広告関連費用(販管費)	532 (6.8%)	689 (7.8%)	+29.4%	
広告宣伝費	502 (6.4%)	621 (7.0%)	+23.7%	新番組、機械式視聴世帯数調査に向け広告宣伝強化、認知度向上キャンペーン実施による増加
販売促進費	30 (0.4%)	68 (0.8%)	+123.4%	機械式視聴世帯数調査開始(4月)に伴う増加

貸借対照表／キャッシュ・フロー計算書の概要

貸借対照表

(単位:百万円、下段は構成比)

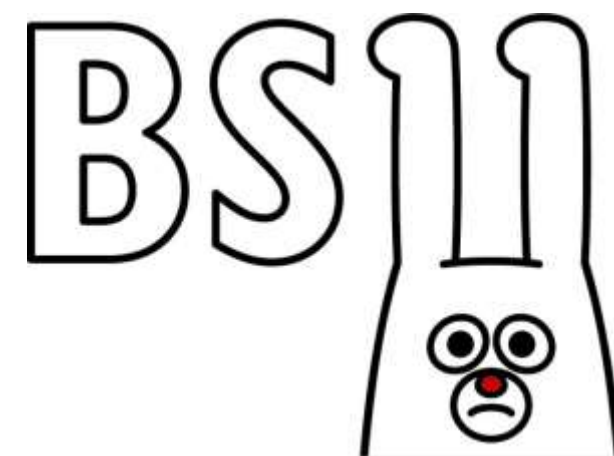
		2014年8月期末	2015年8月期末	
				増減額
流動資産		6,556 (49.6%)	7,892 (52.8%)	+1,336
	固定資産	6,651 (50.4%)	7,049 (47.2%)	+397
資産合計		13,208 (100.0%)	14,942 (100.0%)	+1,733
流動負債		1,043 (7.9%)	1,782 (11.9%)	+739
	固定負債	71 (0.5%)	72 (0.5%)	+0
負債合計		1,115 (8.4%)	1,854 (12.4%)	+739
純資産合計		12,093 (91.6%)	13,087 (87.6%)	+994
負債・純資産合計		13,208 (100.0%)	14,942 (100.0%)	+1,733

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2014年8月期	2015年8月期
営業キャッシュ・フロー	1,646	1,788
税引前当期純利益	1,673	1,909
減価償却費	131	182
売上債権の増減額(▲は増加)	▲190	▲130
仕入債務の増減額(▲は減少)	78	▲21
未払費用の増減額(▲は減少)	72	▲84
法人税等の支払額	▲172	▲149
投資キャッシュ・フロー	▲2,571	▲207
有形固定資産の取得による支出	▲2,557	▲190
財務キャッシュ・フロー	2,823	▲243
株式の発行による収入	2,845	—
配当金の支払額	—	▲222
現金及び現金同等物の増減額	1,898	1,337
現金及び現金同等物の期首残高	2,895	4,794
現金及び現金同等物の期末残高	4,794	6,131

Ⅱ 通期計画



売上高は**10,200**百万円(前期比15.1%増)、営業利益は**2,000**百万円(前期比2.0%増)、
当期純利益は**1,350**百万円(前年比11.0%増)を計画

(単位:百万円、下段は構成比)

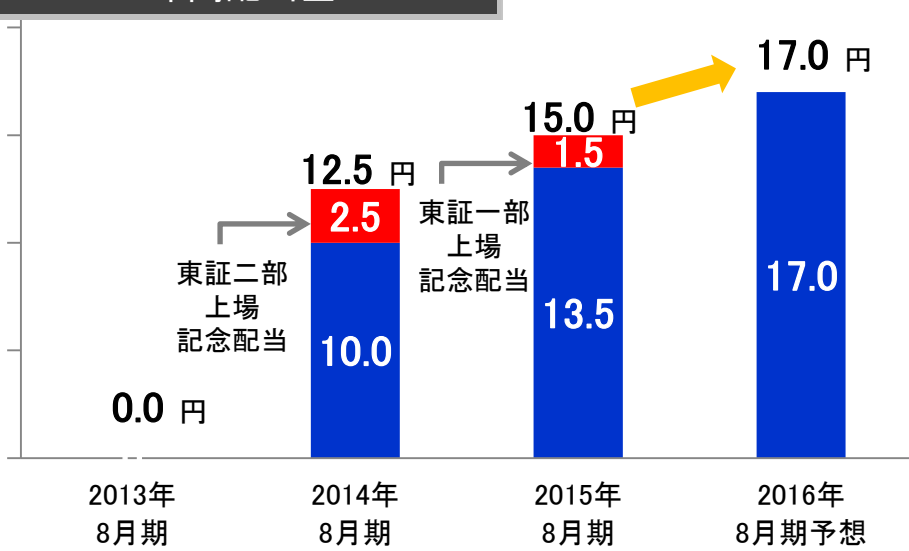
	2015年8月期		2016年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			計画	前年同期比	計画	前年同期比	増減額
売上高	4,354 (100.0%)	8,865 (100.0%)	4,850 (100.0%)	+11.4%	10,200 (100.0%)	+15.1%	+1,334
タイム収入	3,055 (70.2%)	6,392 (72.1%)	3,467 (71.5%)	+13.5%	7,359 (72.2%)	+15.1%	+967
スポット収入	1,132 (26.0%)	2,259 (25.5%)	1,321 (27.2%)	+16.6%	2,706 (26.5%)	+19.8%	+446
その他	166 (3.8%)	214 (2.4%)	61 (1.3%)	▲63.0%	134 (1.3%)	▲37.3%	▲79
営業利益	1,113 (25.6%)	1,960 (22.1%)	910 (18.8%)	▲18.3%	2,000 (19.6%)	+2.0%	+39
経常利益	1,096 (25.2%)	1,912 (21.6%)	910 (18.8%)	▲17.0%	2,000 (19.6%)	+4.6%	+87
当期純利益	708 (16.3%)	1,216 (13.7%)	567 (11.7%)	▲20.0%	1,350 (13.2%)	+11.0%	+133

期末配当金を2円増配、17.0円を計画

配当政策の基本方針

- ・ 当社は、BSデジタル放送事業者という高い公共性に鑑み 永続的且つ健全な経営の維持に努めるとともに、財務体質の強化と内部留保の充実を考慮しつつ、将来の事業展開等を総合的に勘案した上で、長期にわたり**安定した利益配当を継続的に**実施する方針です。
- ・ **年1回**の期末配当を行うことを基本とします。
- ・ 配当性向については、当面の目標を**30%**とし、業績を反映した利益還元を実施してまいります。

年間配当金



	2013年8月期	2014年8月期	2015年8月期	2016年8月期(予想)
年間配当	0円	12.5円	15.0円	17.0円
普通配当	0円	10.0円	13.5円	17.0円
記念配当	0円	2.5円	1.5円	0円
1株当たり当期純利益	91.87円	77.67円	68.34円	75.83円
配当性向	-	16.1%	21.9%	22.4%

(注) 1. 1株当たり当期純利益は期中平均発行済株式数により算出。
 2. 2013年12月16日付株式分割(1対2)、及び2014年8月1日付株式分割(1対2)を遡及計算して記載。




2015年8月期末より株主優待制度を変更。長期保有株主優待制度を新設

変更後の株主優待制度の概要

- ・ 8月末日、2月末日を基準日として、年2回の株主優待を実施
- ・ ビックカメラグループ全店で利用可能な「ビックカメラ商品券」1,000円券1枚を贈呈
- ・ 各基準日現在の当社株主名簿に記載または記録された当社株式1単位(100株)以上保有されている株主様が対象

長期保有株主優待制度の概要

- ・ 以下の2要件の両方に該当する株主様に対し、「ビックカメラ商品券」(1,000円券)を追加贈呈。
 - ①基準日(毎年8月末日、2月末日)の当社株主名簿に連続3回以上同一株主番号で記載または記録されたこと
 - ②当社株式1単位(100株)以上を継続して保有されていること

基準日		2月末日	8月末日
贈呈時期		5月	11月
贈呈内容	株主優待制度	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚	 ビックカメラ商品券1,000円券1枚
	長期保有株主優待制度		 ビックカメラ商品券1,000円券1枚

- ❑ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ❑ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ❑ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営戦略局 経営戦略部

TEL 03-3518-1900

URL <http://www.bs11.jp/>

